SUMA GAKUEN

2021年度K2

オンライン授業報告

まず始めに

- 2月末にアンケート調査実施（当時は対面授業実施）。
- 3月オンライン授業期間の状況は反映されていません。
- 報告のポイント：生徒状況の分析

SUMA GAKUEN

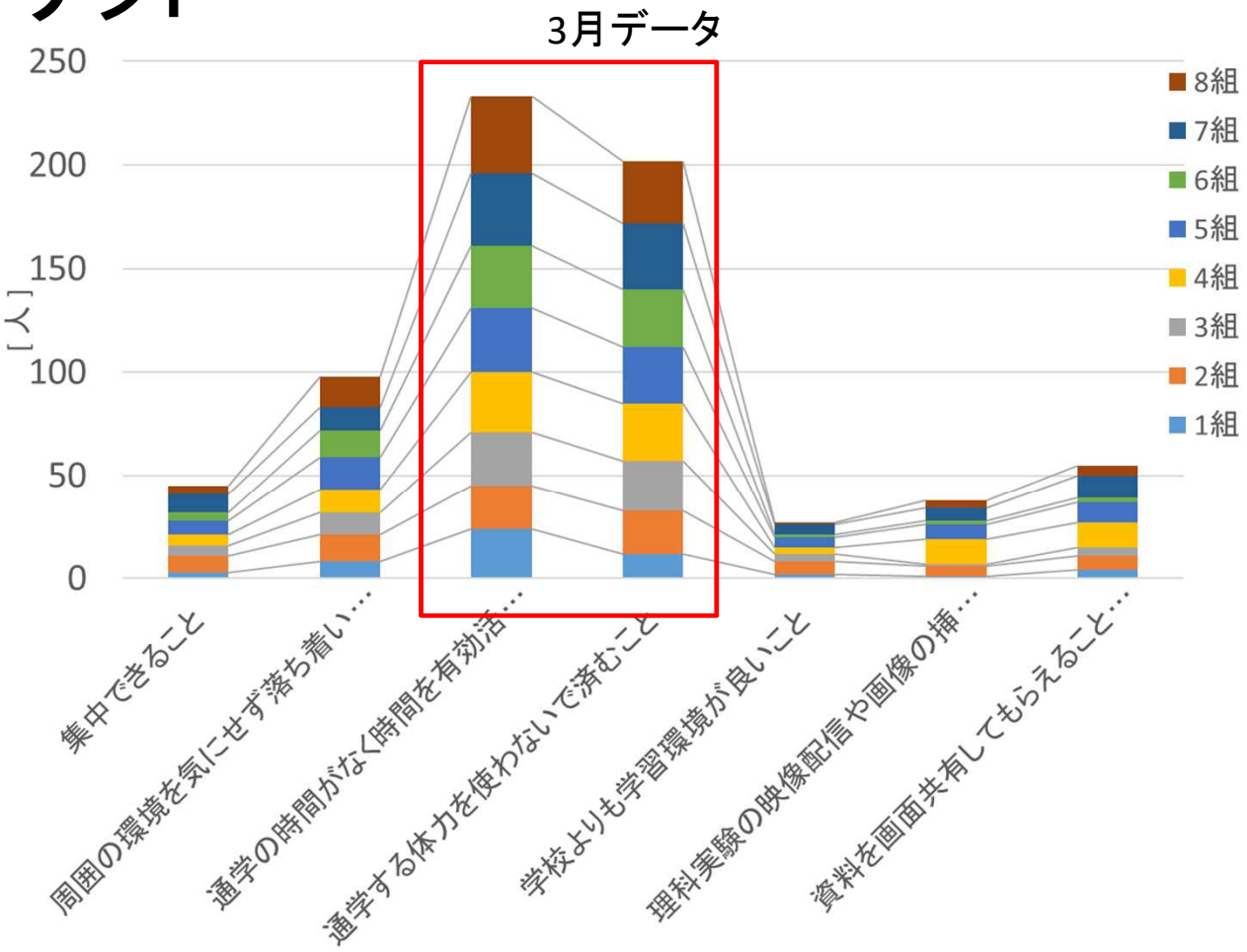
オンライン授業のメリット

「通学の負担の軽減（時間・体力）」
時間：76% → 79% → 83%
体力：72% → 73% → 72%
(7月)　(10月)　(3月)

通学に1～1.5時間かかる生徒がこの項目を選択。受験期に入り時間に勉強に時間を割きたいとの思いが高まっているとも考える。

「周囲の環境を気にせず」
40% → 34% → 35%
(7月)　(10月)　(3月)

周囲との関わりが負担と感じている生徒が比較的多くみられる。対面授業時の精神的フォローが必要と感じる。



SUMA GAKUEN

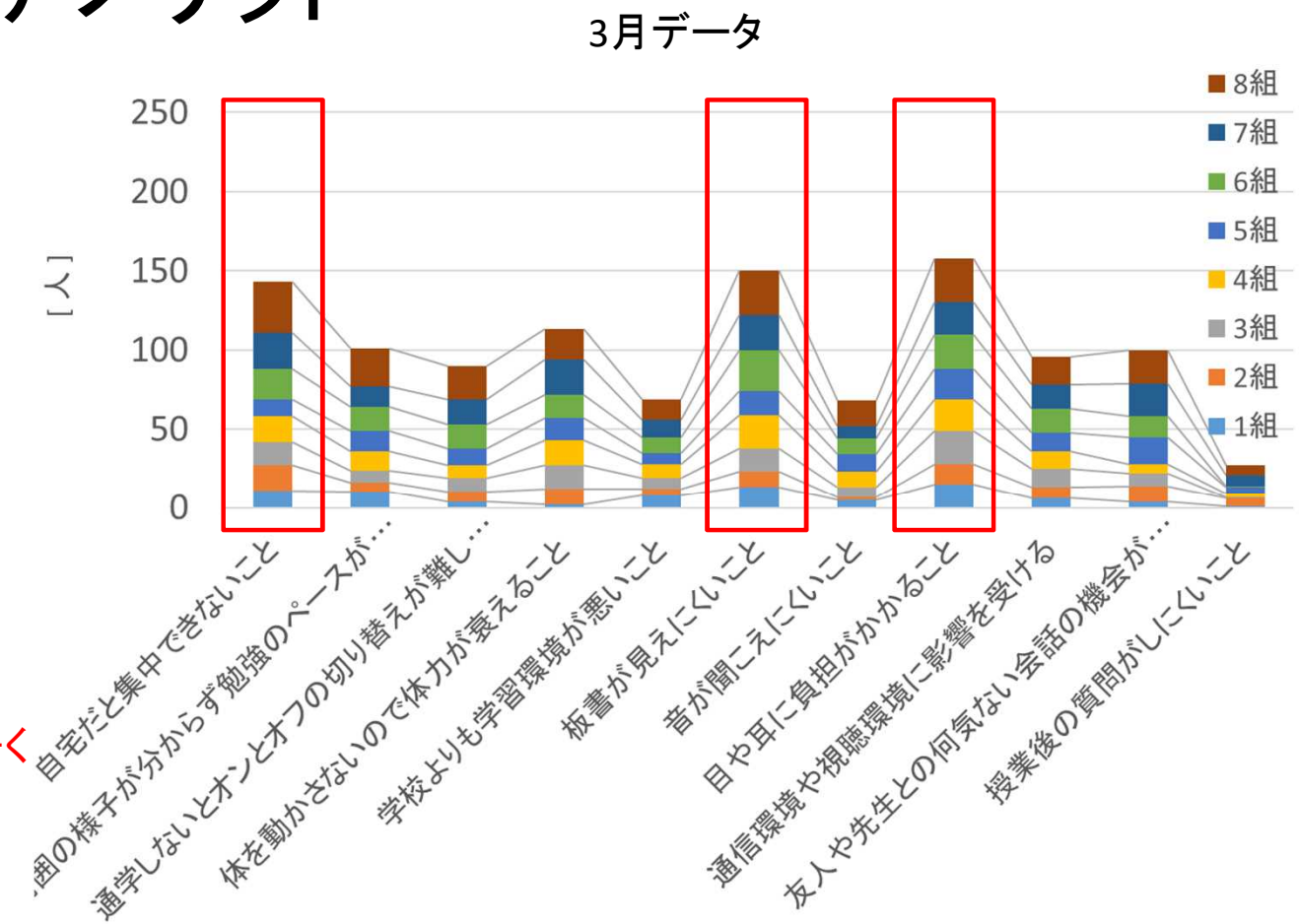
オンライン授業のデメリット

「目や耳の負担」　47% → 51% → 56%
「集中できない」　60% → 47% → 51%
(7月)　(10月)　(3月)

画面注視による負担を訴える生徒が増加。
自宅より学校の方が集中できるとの思いを
持つ生徒が多い。

「板書が見にくい」　47% → 43% → 53%
(7月)　(10月)　(3月)

問題の難化に伴い、板書量が増加し、見辛く
なる傾向がある様子。工夫が必要。



SUMA GAKUEN

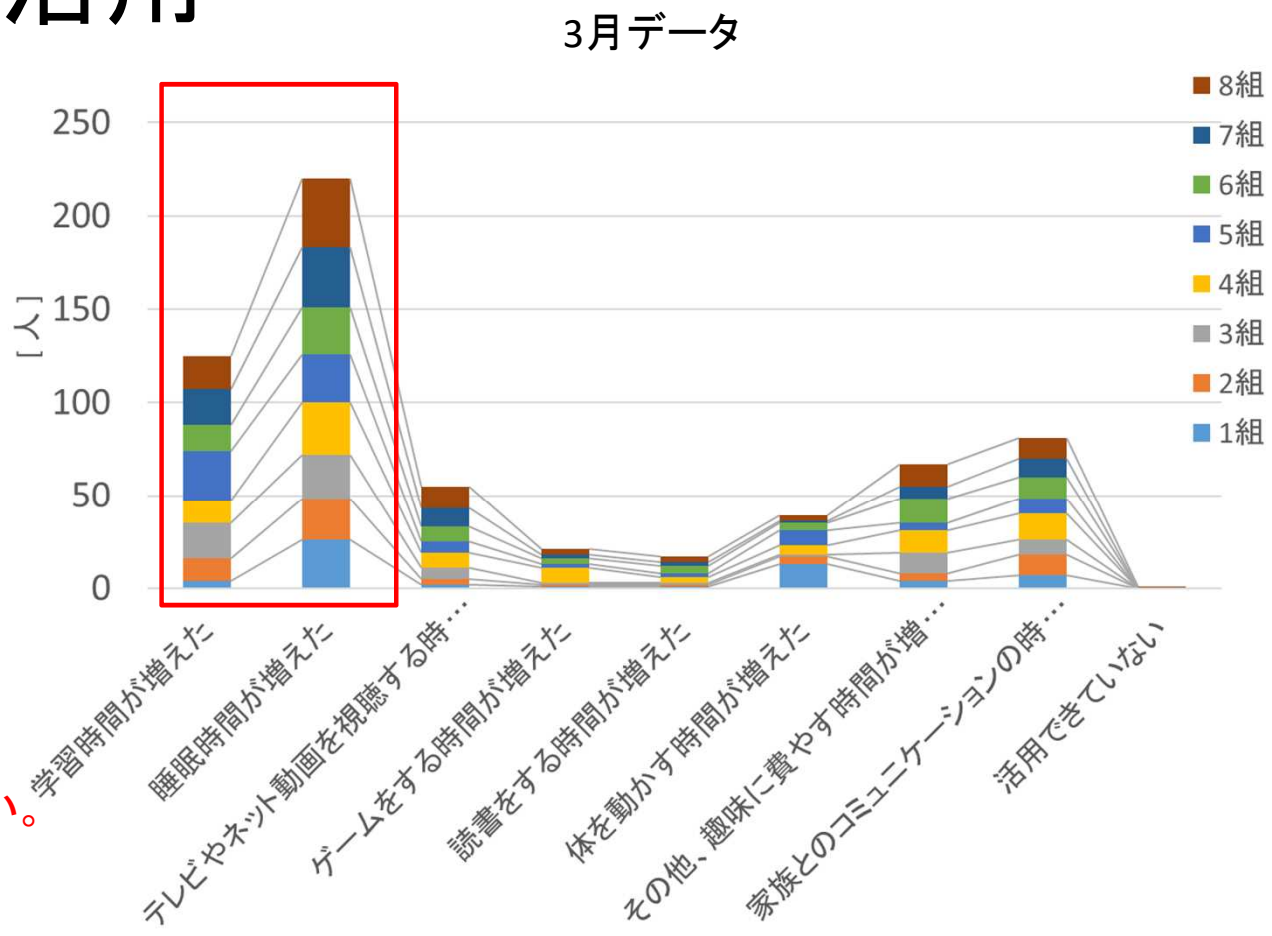
空いた通学時間の活用

「睡眠時間」　78% → 79% → 78%
(7月)　(10月)　(3月)

睡眠時間確保による体力回復を図る者が大多数。裏を返せば睡眠不足を実感する生徒が多い状況。
※定期的にオンライン授業を展開
→睡眠時間の確保に有効？

「学習時間」　44% → 43% → 44%
(7月)　(10月)　(3月)

空いた時間を学習に回せた者は約44%。
隙間時間を有効活用する意識を高めさせたい。

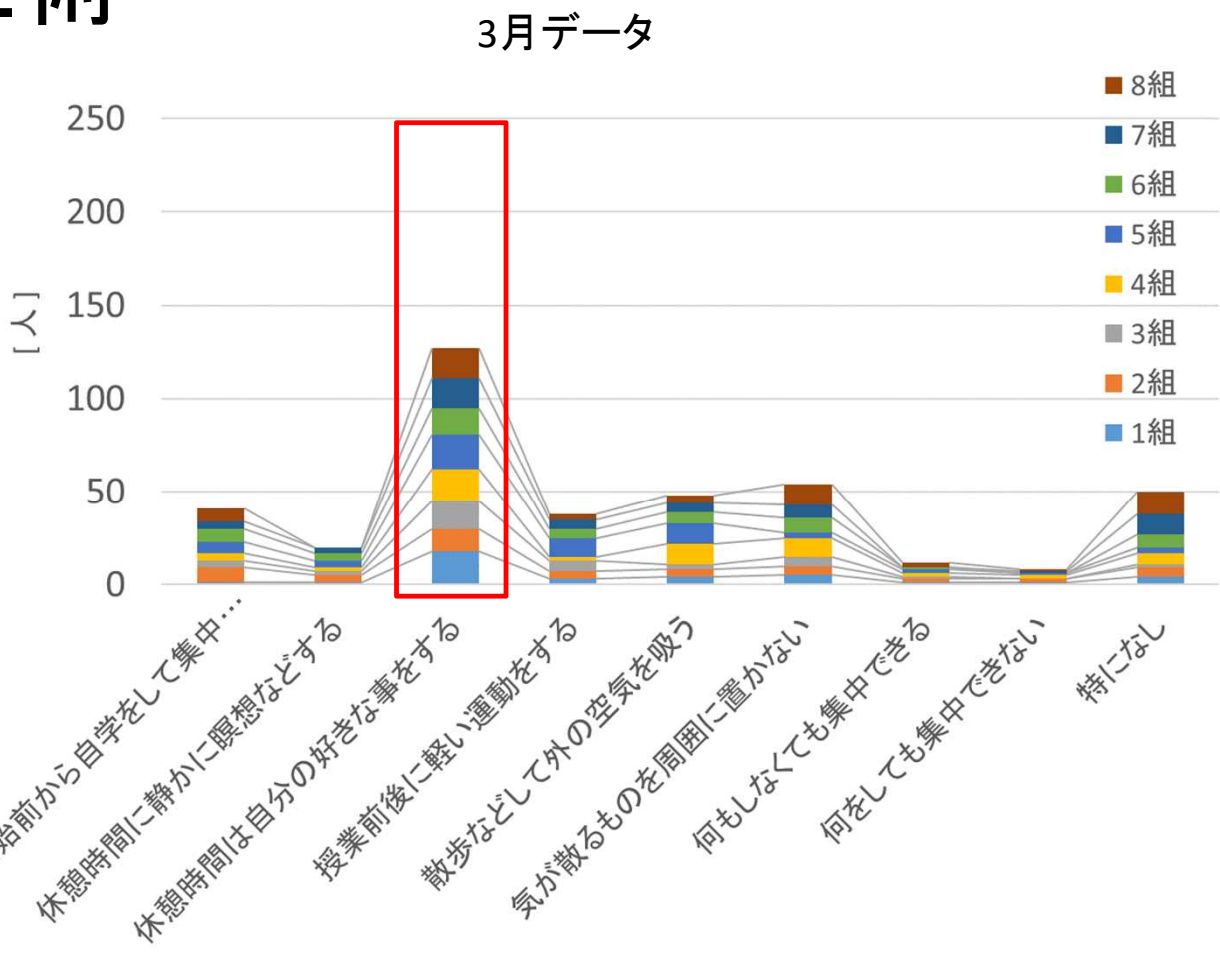


SUMA GAKUEN

自宅での集中力向上術

「休憩時間に好きなことを」 39% → 45% → 45%
(7月) (10月) (3月)

気分転換により、学習とその他のメリハリを
つけることで集中力の向上につなげている。



SUMA GAKUEN

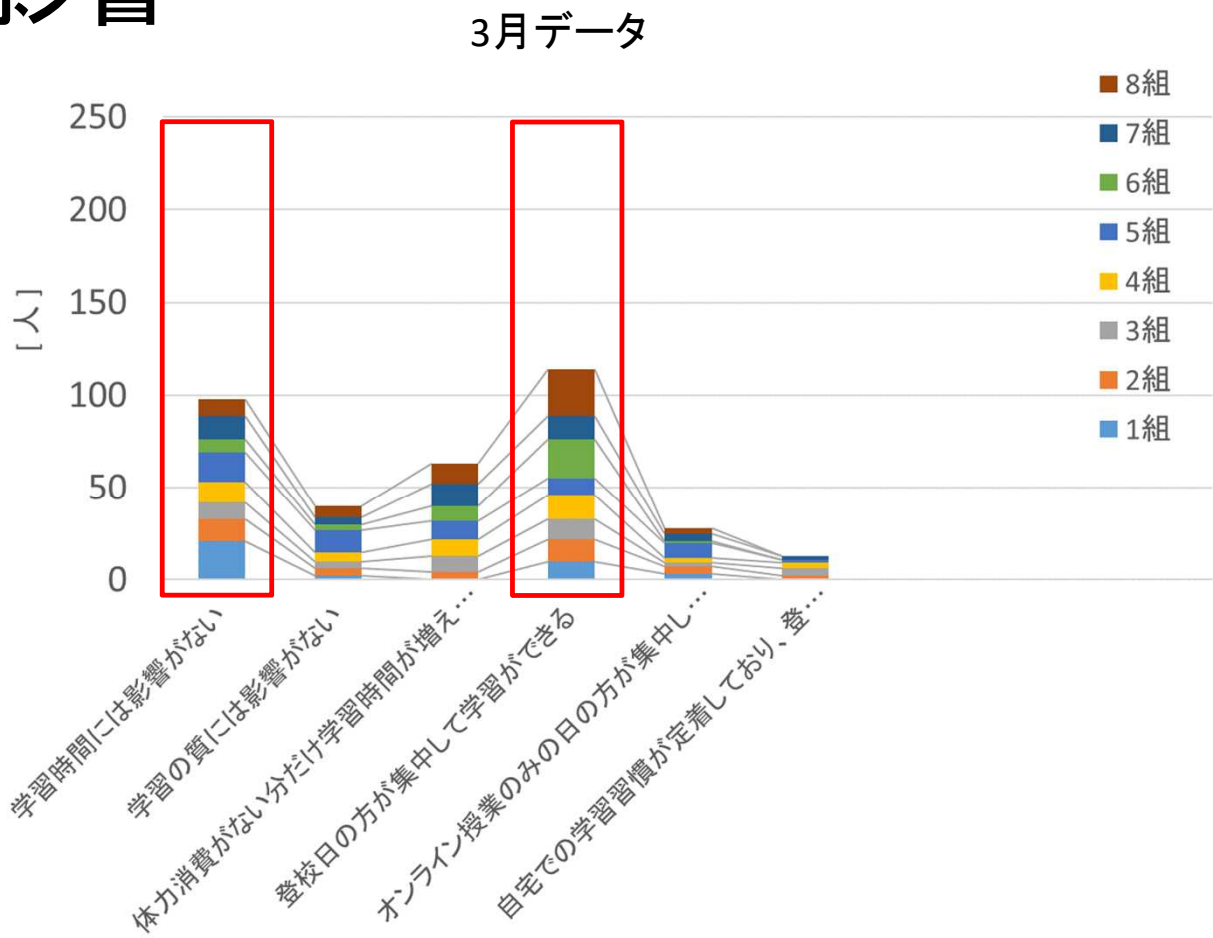
学習時間・習慣への影響

「登校日の方が集中できる」 44% → 42% → 41%
(7月) (10月) (3月)

約40%の生徒がオンライン中心になると集中力が減退すると感じている。→学力に直結。
これからも学校を利用した成績向上の意識を更に高めさせたい。

「学習時間には影響がない」 31% → 36% → 35%
(7月) (10月) (3月)

約3分の1の生徒は家庭学習の習慣が十分に定着していると感じる。



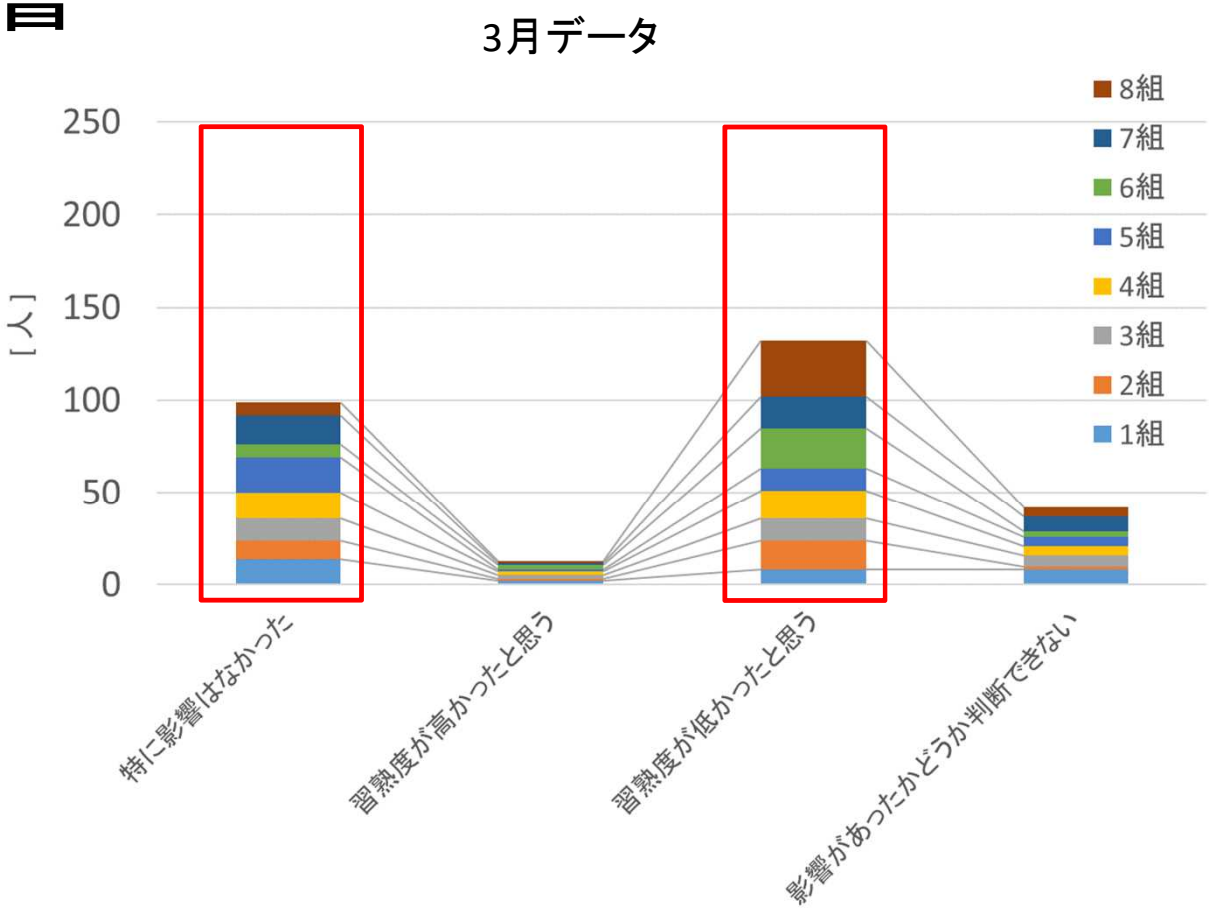
習熟度・考査への影響

「習熟度が低かった」 53% → 44% → 47%
(7月) (10月) (3月)

オンライン授業は対面授業に比べて習熟に時間がかかると感じる生徒が多かった。
1番の理由は「集中力の低下」。

「影響はない」 29% → 39% → 35%
(7月) (10月) (3月)

3分の1の生徒が影響はないと感じているが、オンラインがプラスに働いたと感じる生徒はほとんどいない状況。



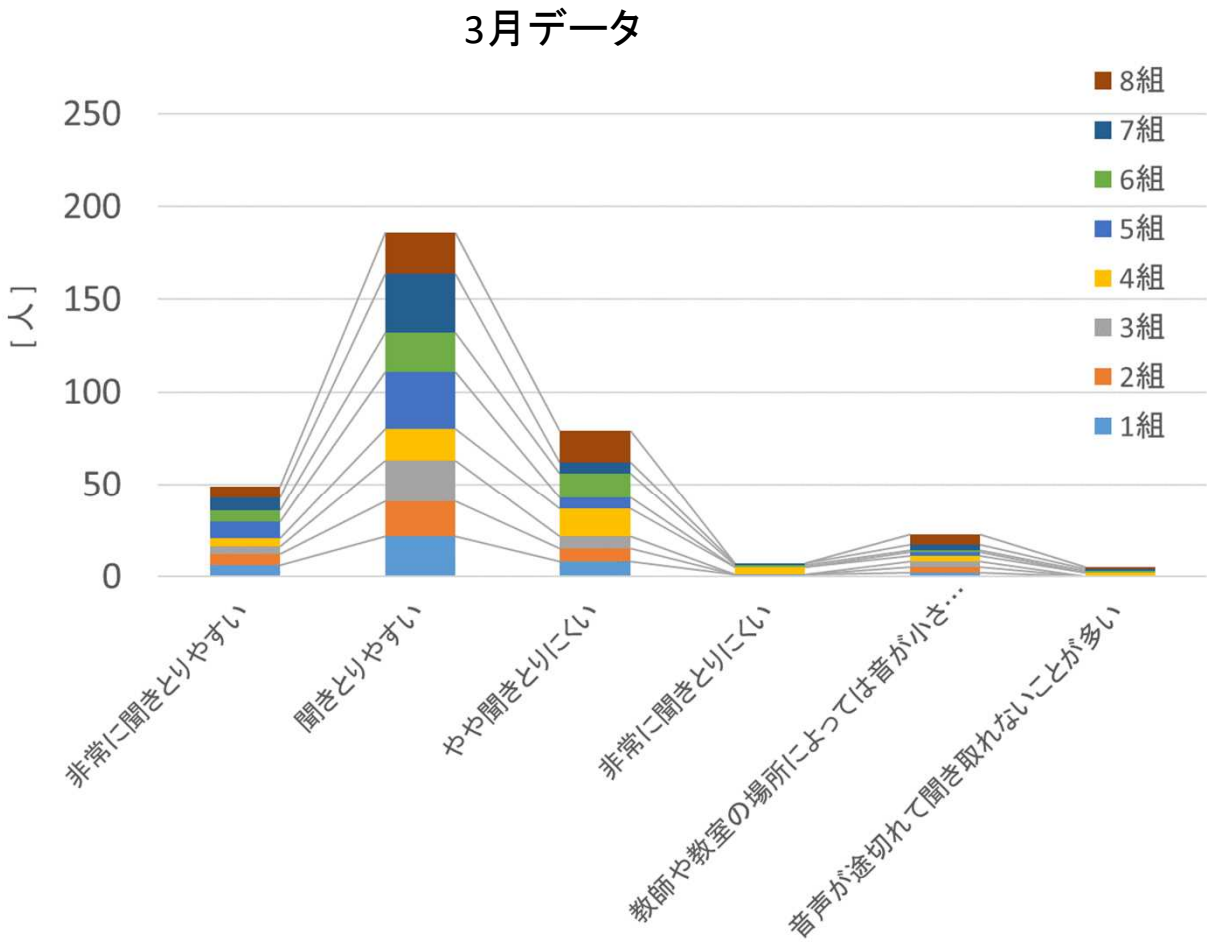
SUMA GAKUEN

音声の質

「聞き取りやすい」以上　　76% → 73% → 66%
「やや聞き取りにくい」以下　22% → 21% → 30%
(7月)　(10月)　(3月)

概ね問題ないが、対面と比較すると聞き取りづらく感じる生徒が約25%。

教員へのイヤホンマイクの導入が必要？



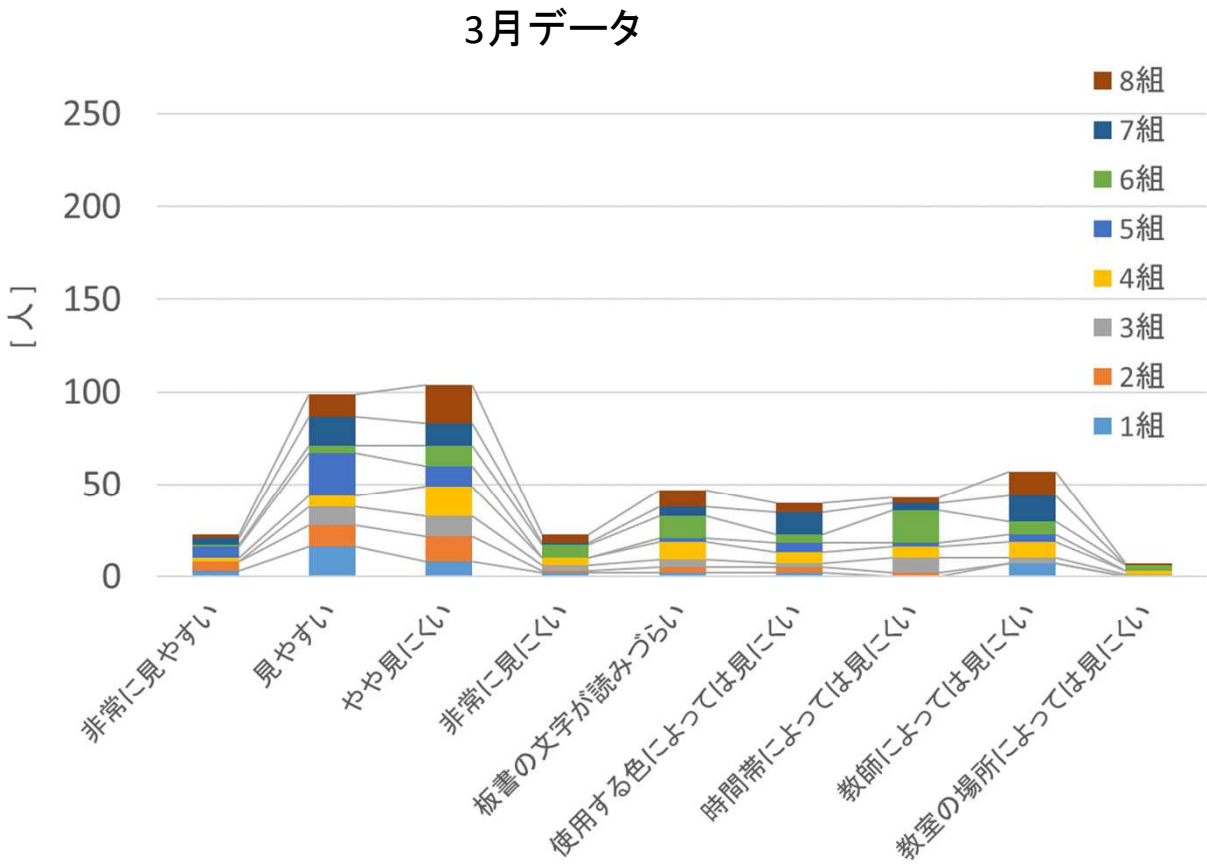
SUMA GAKUEN

板書の見え方

「見やすい」以上　　55% → 51% → 43%
「やや見にくい」以下　38% → 38% → 45%
(7月)　(10月)　(3月)

対面授業と比較して板書は見辛いと感じる生徒が約40%。
板書を大きくすると板書量増加に対応しづらい。
また、「板書→生徒がノートに記録→消す」の作業が増え、授業進度の遅れに。

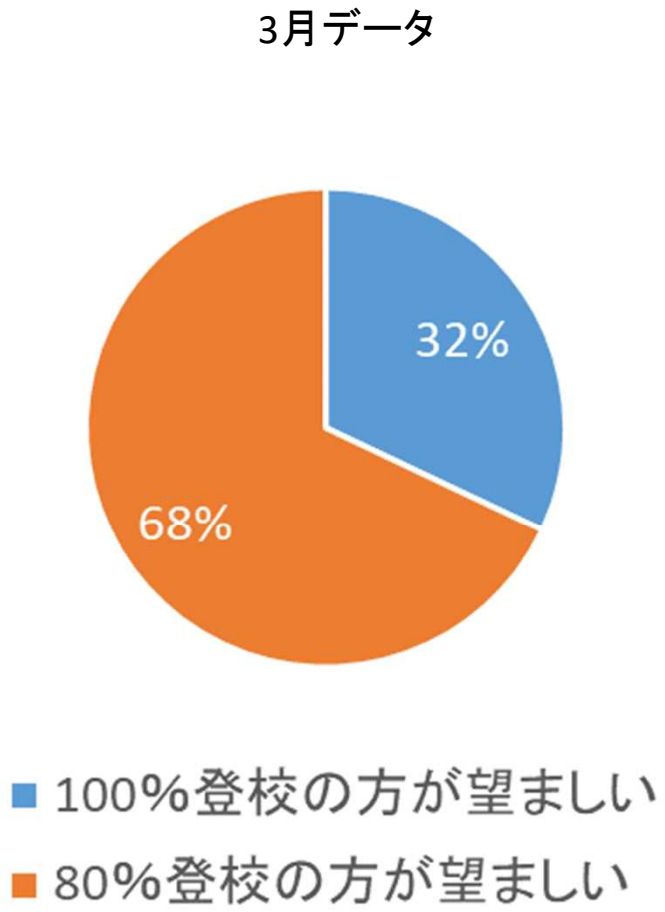
iPadに外付けでカメラ接続などの機器改良？



80% or 100%登校

「100%登校」 32% → 28% → 32%
「80%登校」 68% → 72% → 68%
(7月) (10月) (3月)

約70%の生徒が80%登校を希望している。
「通学時間の負担の低下」と「家庭での学習環境の低下」のトレードオフを考える必要がある。

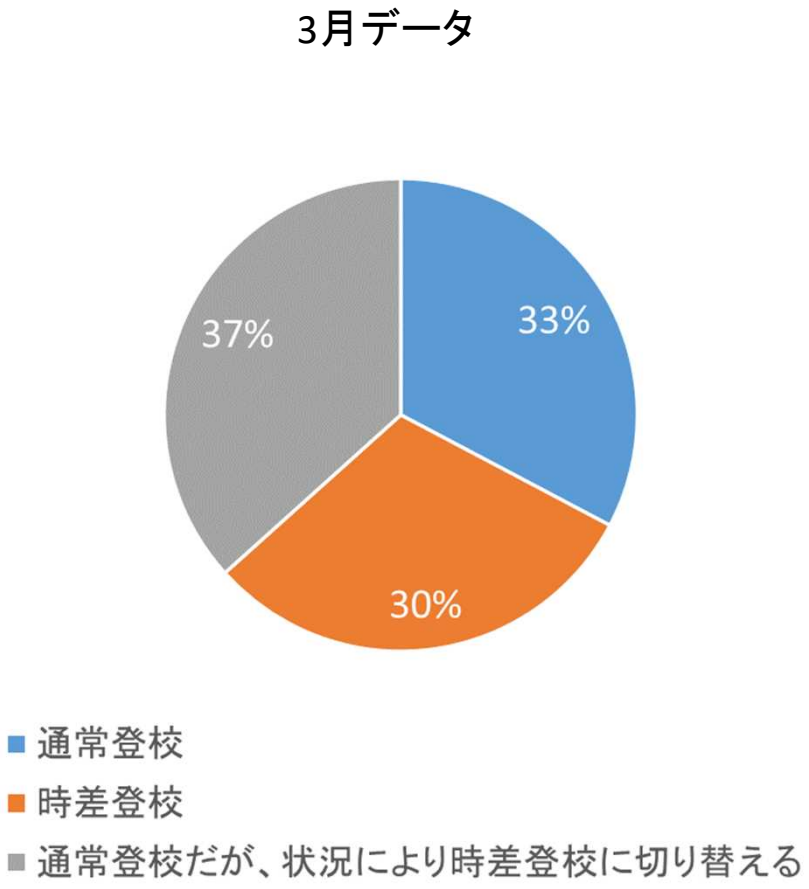


SUMA GAKUEN

通常登校 or 時差登校

「通常登校」 11% → 33%
「時差登校」 73% → 30%
「状況次第」 16% → 37%
(10月) (3月)

10月に比べて時差登校を希望する生徒は
半数以下となり、通常登校を望む生徒が増加している。

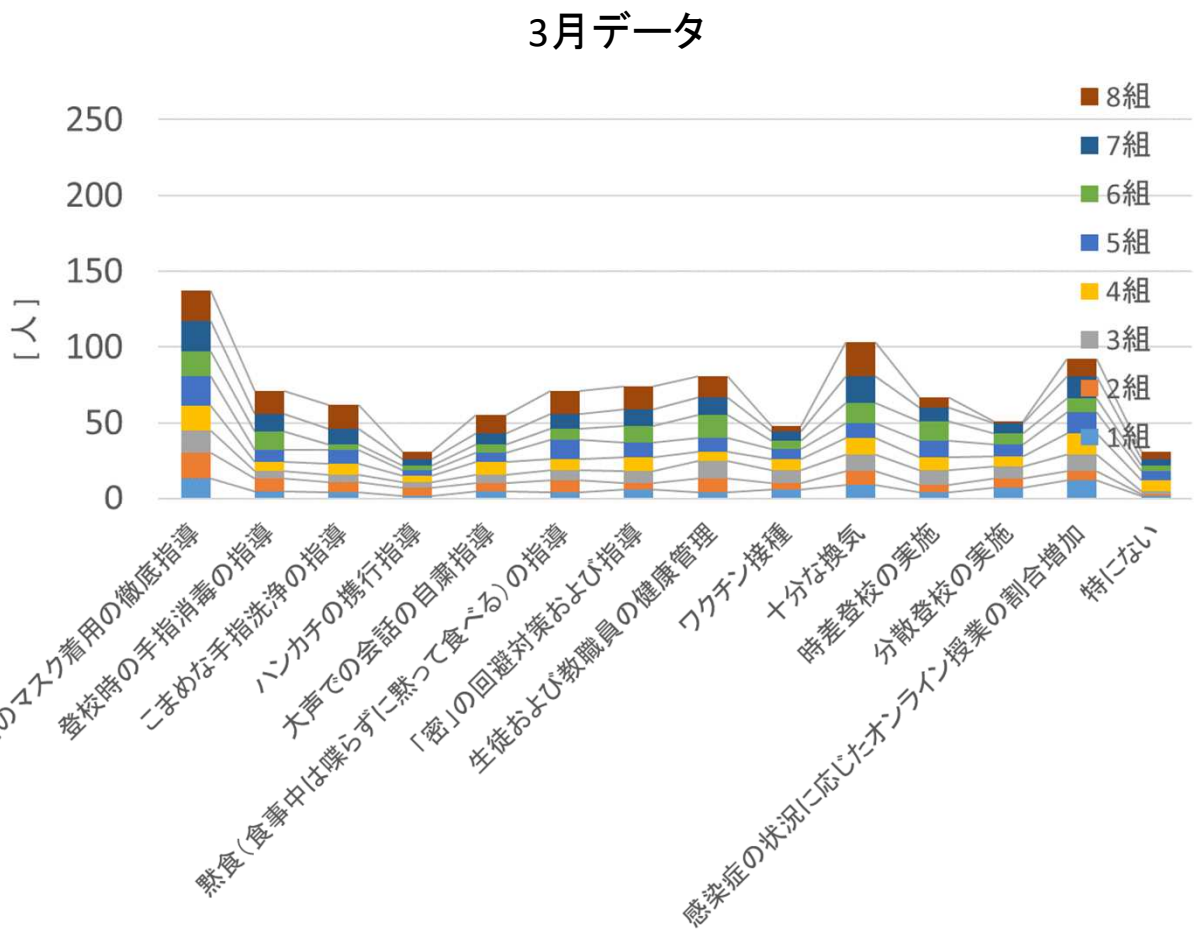


SUMA GAKUEN

感染症対策

「マスク着用」　32% → 36% → 49%
「換気」　28% → 40% → 37%
「web授業増加」　17% → 28% → 33%
(7月)　(10月)　(3月)

対面への慣れが生じており、マスク・換気の徹底を要望する生徒が多い。
感染者が多い時期にはweb授業の実施を希望する生徒も増加した。



SUMA GAKUEN

高3に向けて

受験生としての自覚が高まり、学校で勉強したいとの思いを持つ生徒が増えている。

対面授業における身体的・精神的な負担には引き続き注意を払う必要がある。

家庭での学習環境が整っている者は約30%。学校を利用した学習が有効。

対面授業時のマスク・換気の励行といった感染症対策を更に徹底する。